慣用句(中級)プリント1（ルビつき） No.14（ルビつき）

なまえ

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

出席番号　　必要な人は書く

問1 「気を落とす」の意味はどれですか？

- ○ 自分の失敗を反省して落ち込む
- ○ 物事の優先順位を低くする
- ○ 期待外れの結果にがっかりして元気をなくす
- ○ 相手を励まして元気を取り戻させる

問2 「口を閉ざす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 眠くなったので口を閉ざした。
- ○ 口を閉ざして食べ物をかんだ。
- ○ 彼は何も語らず、かたく口を閉ざした。
- ○ 寒さで震えて口を閉ざした。

問3 「耳をふさぐ」の意味はどれですか？

- ○ 他人の秘密をこっそり聞き出す
- ○ 聞きたくないという気持ちから、聞くことを拒む
- ○ 長い間聞いていたことが忘れられなくなる
- ○ 相手の言葉を注意深く聞き入れる

問4 慣用句の「口を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 沈黙が続く中、彼がようやく口を切った。
- ○ びっくりして思わず口を切った。
- ○ 包丁で野菜を切るように口を切った。
- ○ 口を切るほど大きな声で叫んだ。

問5 「血も涙もない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 悲しすぎて血も涙もないくらい泣き続けた。
- ○ 健康診断で血も涙もないと言われて驚いた。
- ○ けがをして血も涙もないほど流してしまった。
- ○ 困っている友人を無視するなんて、血も涙もない。

問6 「猫の額」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 部屋が猫の額のように散らかっている。
- ○ 猫の額が広くて、とても立派な家だ。
- ○ 猫の額をなでて、かわいがってあげた。
- ○ 猫の額ほどの庭に、小さな花壇を作った。

問7 「耳に残る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 耳に残るように、毎日掃除をしている。
- ○ コンサートで聴いた曲が、ずっと耳に残る。
- ○ 耳に残るくらい、冷たい風が吹いている。
- ○ 耳に残るほど、大きな声で叫び続けた。

問8 「鼻につく」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 彼の偉そうな態度が鼻につく。
- ○ 鼻についた泥をきれいに拭き取った。
- ○ 花粉が鼻についてくしゃみが出る。
- ○ 彼は鼻につくほど大きな声で笑った。

問9 「足元を見る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 暗い夜道なので足元を見て歩いた。
- ○ 階段を降りるときは足元を見て気をつける。
- ○ 困っている人の足元を見て商売をするのは卑怯だ。
- ○ 転ばないように足元を見てゆっくり進む。

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

慣用句(中級)プリント1（ルビつき） No.14（ルビつき）

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 「気を落とす」の意味はどれですか？

- ○ 自分の失敗を反省して落ち込む
- ○ 物事の優先順位を低くする
- ● 期待外れの結果にがっかりして元気をなくす
- ○ 相手を励まして元気を取り戻させる

問2 「口を閉ざす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 眠くなったので口を閉ざした。
- ○ 口を閉ざして食べ物をかんだ。
- ● 彼は何も語らず、かたく口を閉ざした。
- ○ 寒さで震えて口を閉ざした。

問3 「耳をふさぐ」の意味はどれですか？

- ○ 他人の秘密をこっそり聞き出す
- ● 聞きたくないという気持ちから、聞くことを拒む
- ○ 長い 間 聞いていたことが忘れられなくなる
- ○ 相手の言葉を注意深く聞き入れる

問4 慣用句の「口を切る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ● 沈黙が続く中、彼がようやく口を切った。
- ○ びっくりして思わず口を切った。
- ○ 包丁で野菜を切るように口を切った。
- ○ 口を切るほど大きな声で叫んだ。

問5 「血も 涙もない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 悲しすぎて血も 涙 もないくらい泣き続けた。
- ○ 健康診断で血も 涙 もないと言われて驚いた。
- ○ けがをして血も 涙 もないほど流してしまった。
- ● 困っている友人を無視するなんて、血も 涙 もない。

問6 「猫の 額 」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 部屋が猫の 額 のように散らかっている。
- ○ 猫の 額 が広くて、とても立派な家だ。
- ○ 猫の 額 をなでて、かわいがってあげた。
- ● 猫の 額 ほどの庭に、小さな花壇を作った。

問7 「耳に残る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 耳に残るように、毎日掃除をしている。
- ● コンサートで聴いた曲が、ずっと耳に残る。
- ○ 耳に残るくらい、冷たい風が吹いている。
- ○ 耳に残るほど、大きな声で叫び続けた。

問8 「鼻につく」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ● 彼の偉そうな態度が鼻につく。
- ○ 鼻についた泥をきれいに拭き取った。
- ○ 花粉が鼻についてくしゃみが出る。
- ○ 彼は鼻につくほど大きな声で笑った。

問9 「足元を見る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 暗い夜道なので足元を見て歩いた。
- ○ 階段を降りるときは足元を見て気をつける。
- ● 困っている人の足元を見て商売をするのは卑怯だ。
- ○ 転ばないように足元を見てゆっくり進む。